

平成 29 年度(2017 年度)の事業計画書

平成 29 年(2017 年)10 月 1 日から平成 30 年(2018 年)9 月 30 日まで

特定非営利活動法人コースター

1 事業実施の方針

① 社会的課題の解決に取り組む人材を育成する事業

○まちづくり・人材育成支援事業

川内村支援事業

避難指示解除後における川内村での交流人口の増加と同村で活動する若手プレーヤーが活動できる現場づくりの創出を通して、復興に寄与するとともに当団体の理念達成を目指す。2013 年の郡山市内の同村の仮設住宅の支援から開始したが、2017 年 4 月に村外の仮設住宅供与終了により、住民が帰村または村外へ移住した。復興道半ばの状況で、帰村後、住民が孤立している状況やボランティアが十分に関与しきれていない状況を目の当たりにし、引き続き、村内での活動を行う。

具体的には、村役場・教育委員会といった関係機関と協力して、住民の生活支援(清掃兼御用聞き)ボランティアや村民にとってアイデンティティになっている伝統行事(天山祭り)などのボランティアコーディネートを行う。

現段階での目標として、年 1 回ボランティアする団体 12 団体の発掘とその現場の創出することで、当団体が関与しなくても、随時、若者が川内村に赴いている状況を目指す。

高校生向け事業

昨年度に引き続き、次世代の福島を担うプレーヤーとして高校生プレーヤーの輩出を目指す。具体的には、実行委員として参画している協議会(HighschoolPitch 実行委員会)と連携して、高校生向けのイベントを月 12 回実施し、そのうち 4 回、高校生と社会人のマッチングの場として運営する。また、実行委員会としてまだ基盤が整備できていないため、その構築を行う。

大学生向け事業

昨年度に引き続き、次世代の福島を担うプレーヤーとして高校生プレーヤーの輩出を目指す。具体的には、春と夏に 1 か月間の課題解決型インターンシップのプログラム創出とそのマッチングを行う。目標として、15 社 30 名を目指す。

浜通りプロジェクト創出支援事業

昨年度、社会学者開沼博氏と進めてきていた社会学・統計学の観点から福島県の現状を学ぶ勉強会「福島学ゼミ」から派生して、福島県の現状を可視化して伝えていく WEB ツールの開

発を実施する。

また、この WEB ツールを起点にして、浜通りの現地で活動する団体が支援情報・データを発信していくことで、沿岸部の現在を伝えると同時に、そのデータを元にプロジェクトを創出できるための基盤整備を目指す。

具体的には、NPO 団体とシステムエンジニアの定期的なアイデアだしおよび開発イベントであるアイデアソン・ハッカソンを実施し、その内容を元にツール開発を行う。

② 地域社会の変革を促進するための社会的基盤を整備または強化する事業

○コミュニティスペース事業

多様なセクター（市民、企業、NPO、行政等）をつなぎ、とくに若い世代の活動や事業創出を支援する施設としての認知を広めることを目指す。具体的な数値目標としては、貸しスペースとワーキングの利用者 500 人/月、売上 60 万円/月を目標とする。また、イベントの実施等で昨年度以上の団体や企業との連携実績をつくる。

施設の整備は入居者や利用者のニーズを積極的に把握し、中期的な整備計画を作成し、実施していく。

○プロジェクト運営サポート 事業

創業支援事業

次世代の福島を担うプレーヤーとして社会人・起業家プレーヤーの輩出を目指す。具体的には、コミュニティビジネスや経営支援に関する連続講座を毎月 1 回実施する。加えて、昨年度実施したチャレンジ塾も月 2 回実施し、起業家予備軍の排出を行う。

そうすることで、コトひらくのコワーキングスペースおよびレンタルオフィスの利用者増加にもつなげていく。

NPO 法人事業サポート 事業

昨年度に引き続き、NPO 法人向けの事業運営および組織基盤整備に関する補助を行う事業を推進する。現在、2 団体への支援を行っているが、マネタイズできているのは 1 団体のみであり、もう 1 団体からキャッシュを得られるよう支援を行いたい。

また、こうした支援が属人的なものになっているため、当団体内におけるノウハウの確立とサービスメニューの開発に努めたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位:千円)
① 社会的課題の解決に取り組む人材を育成する事業	○まちづくり・人材育成事業 ・川内村支援事業 川内村でのボランティアのコーディネートを行う	(A)通年 (B)郡山市、川内村 (C)2名	(D)郡山市に避難する川内村住民および帰村した村民 (E)2500人	5,000
	・高校生向け事業 高校生向けイベントの実施および高校生のメンタリング	(A)月1回程度の頻度 (B)福島コトひらく他 (C)3名	(D)県内の活動的な高校生 (E)500名	3,000
	・大学生向け インターンシップコーディネート	(A)県内全域 (B)福島コトひらく他 (C)3名	(D)県内外の若者 (E)のべ1000人	5,000
	・浜通り支援プロジェクト 福島学ゼミの開催とそのアウトプットの開発	(A)通年 (B)いわき市、双葉郡 (C)3名	(D)双葉郡民 (E)100000人	3,000
② 地域社会の改革を促進するための社会的基盤を整備または強化する事業	○コミュニティスペース運営事業 ・「福島コトひらく」のワーキングスペース、会議室、レンタルオフィス等の貸出し。	(A)通年 (B)郡山市富久山町にあるコミュニティスペース (C)5人	(D)郡山市とその周辺に住む若者や市民 (E)4000人	7,200
	○プロジェクト運営サポート事業 ・創業支援事業 コトひらくを中心にコミュニティビジネスで起業する利用者のサポート	(A)通年 (B)郡山市 (C)5名	(D)郡山市民の創業希望者 (E)3万人	7,500
	・NPO 法人事業サポート NPO 法人の事務局基盤整備のサポート	(A)通年 (B)郡山市、富岡町 (C)3人	(D)郡山市および県中地域に拠点を置くNPO等の市民活動団体 (E)5団体程度	1,200